

大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職:長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

中島敦 (小説家)

人生は何事をもなさぬにはあまりにも長いが、何事かをなすにはあまりにも短い。

新たな年に移り変わろうとしています。皆さんにとって、この平成二十五年はどのような年であったでしょうか？社会的には、オリンピックの東京への招致が実現するという慶事に沸いた一方、隣国との摩擦や、遅々として進まない東日本大震災からの復興など、様々な不安要因に見舞われた年でした。新年を迎えるに当たり、皆さまそれぞれ、ゆく年に思いを致し、来る年に希望を抱いてらっしゃることでしょう。来る年が良き年であるように願いたします。

さて、年末は、月日の経つのが早いと実感する時期ではないでしょうか。「一年経つのは早いですね…」街のあちこちからこういった声が聞こえてきます。冒頭のことは『山月記』の中で、虎になった主人公が、自らの人生を振り返り、自嘲気味に語ったことばの一節。主人公がこの言葉を警句にしていたことを振り返りつつ、実際にこのことばを踏まえて、行動しなかったことを反省したのです。



私たちは、「人間として生まれてきた以上、何かを成し遂げたい」という思いを共通して持っています。また、「この命は有限であり、人生は有限ではない」ということがわかっていながら、ついつい、大切なことを後回しにし、無為に時間を過ごしてしまうものではないでしょうか。そんな私たちに、「人生は有限である」ということを、身を以て示してくれるのが、私たちの身近な方の「死」です。亡くなった方々は皆、「人生は有限です。時間は瞬く間に過ぎ去ります。だからこそ、悔いのないように、一瞬一瞬を大切に、懸命に生きてください」というメッセージを私たちに遺してくれているのです。新年を迎えるにあたり、皆さんに是非お願いしたいのは「今年一年の目標をしっかり立てる」ということ。そしてまた、立てるだけでなく、「人生は何事かをなすにはあまりに短い」ということを踏まえ、それを寸暇を惜しまずに実行することで、一年後、「一年経つのは早い。けれども、私はこれを成し遂げられた」と、口には出さずとも、お互いに思えるよう、精進したいものです。

合掌

仏事

Q & A

第二十回

Q. 「一般的なお仏壇のまつり方を教えてください」

A.

- ①お仏壇の上段中央には、御本尊（お釈迦様）を。
- ②お位牌は上段の左右に。（古いお位牌は向かって右に、新しいお位牌は左に）
- ③お供えものは中段に。
- ④下段には三具足（花立て、香炉、ロウソク立て）を。
- ⑤お参りの必需品（リン、木魚、お経本など）は下段は前机に。



©曹洞禅ネット

当寺の最新情報をチェック！

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏（なむしゃかむにぶつ）